



2015年度 関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練の実施

関西国際空港で航空機事故が発生した場合に備え、関西国際空港緊急計画の検証を行うとともに、関係機関と緊密な連携と協力による迅速かつ適切な消火救難、災害医療活動訓練を下記のとおり行います。

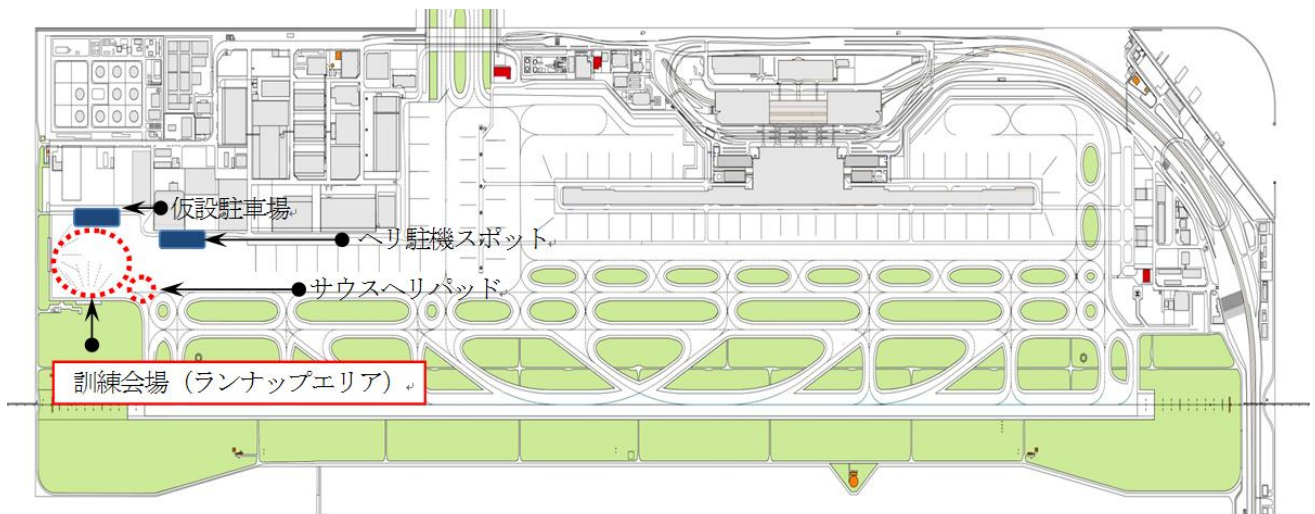
記

- 実施日時 2015年10月14日(水) 14:00～15:30
- 実施場所 関西国際空港内
- 主催 関西国際空港緊急計画連絡協議会
- 航空機提供 ジェットスター・ジャパン株式会社(A320-200型機)
- 参加機関
 - ・ 参加機関 : 76機関
【国土交通省関西空港事務所、大阪府警、消防機関14市町8消防本部(局)、医療機関他】
 - ・ 参加人員 : 830名
 - ・ 車両 : 消防車32台、救急車20台、警察車両8台
 - ・ ヘリコプター : 3機(関西空港海上保安航空基地、大阪府警察本部、大阪市消防局)
- 訓練想定
「ABCD航空2015便(国際線:香港発関西空港行)、A320-200型機が、A滑走路(06)に着陸後、滑走路中央付近にてNo2エンジンより出火し、機体に延焼中」との想定で以下の訓練を実施。
- 訓練内容
 - ・ 新関西国際空港(株)および大阪府下14市町8消防本部(局)による消火活動訓練
 - ・ 航空機および機内に模した訓練用モックアップからの負傷者救出訓練
 - ・ 訓練用シューターによる脱出訓練および負傷者救助訓練
 - ・ 無傷者の入国に対するCIQ手続き訓練
 - ・ 特殊メイクを施した模擬負傷者に対する、DMAT(大阪府泉州救命救急センター、近畿大学医学部附属病院、堺市立総合医療センター)および日本赤十字社等の空港救護班による災害医療活動訓練
 - ・ ヘリコプター3機による負傷者搬送訓練
 - ・ DMORT(災害死亡者家族支援チーム)による遺族者へのメンタルヘルス対応訓練
 - ・ 航空事故総合対策本部、現地調整本部、新関西国際空港(株)対策本部の活動訓練





2015年度 関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練



訓練会場概況図

